

よこはまだんじょきょうどうさんかく
横浜市男女共同参画センター



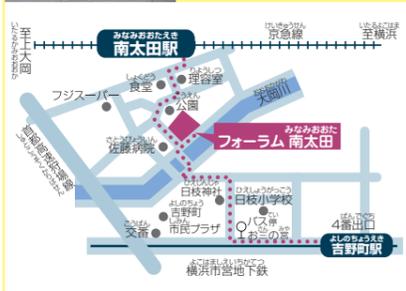
フォーラム
【男女共同参画センター横浜】



住所 戸塚区上倉田町435-1 ☎045-862-5050
行き方 JR市営地下鉄「戸塚駅」から歩いて5分
開館時間 9:00-21:00 日曜・祝日 9:00-17:00
休館日 毎月第4木曜・年末年始



みなみおた
フォーラム南太田
【男女共同参画センター横浜南】



住所 南区南太田1-7-20 ☎045-714-5911
行き方 京急線「南太田駅」から歩いて3分
市営地下鉄「吉野町駅」から歩いて7分
開館時間 9:00-21:00
休館日 毎月第3月曜・年末年始



アートフォーラム
の
あざみ野
【男女共同参画センター横浜北】



住所 青葉区あざみ野南1-17-3 ☎045-910-5700
行き方 市営地下鉄・東急田園都市線「あざみ野駅」
から歩いて5分
開館時間 9:00-21:00 日曜・祝日 9:00-17:00
休館日 毎月第4月曜・年末年始

※閉館時間(閉まる時間)などは変わる場合があります。

けいかく なか か そうだん まどぐち
計画の中に書いてある相談するところ(窓口)

相談すること	相談するところ(窓口)の名前
仕事 <small>しごと</small> の相談 <small>そうだん</small>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「女性としごと応援デスク」 横浜市就職サポートセンター
会社 <small>かいしゃ</small> の相談・会社を作る相談 <small>そうだん</small>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「女性起業UPルーム」 (公財)横浜企業経営支援財団(IDEC横浜)
ハラスメント <small>そうだん</small> の相談	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「女性としごと応援デスク」 横浜市DV相談支援センター かながわDV相談LINE 〈安全対策・緊急時〉警察
DV <small>そうだん</small> の相談	<ul style="list-style-type: none"> 18区役所 こども家庭支援課 DV相談+(ぷらす)
性暴力・性犯罪 <small>せいぼうりょく せいはんざい</small> にあった時の相談 <small>とき そうだん</small>	<ul style="list-style-type: none"> かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター(かならいん) 横浜市犯罪被害者相談室
ひとり親 <small>おや</small> の相談 <small>そうだん</small>	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親サポートよこはま ジョブスポット ※18区役所内に設置 18区役所 こども家庭支援課
暮らし <small>くらし</small> の中で、性別 <small>せいべつ</small> に関する問題 <small>もんだい</small> の相談 <small>そうだん</small>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「心とからだと生き方の総合相談」
性差別 <small>せいさべつ</small> などの相談 <small>そうだん</small>	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センター「男女共同参画に関する人権侵害相談・申出制度」
妊娠 <small>にんしん</small> ・出産 <small>しゅっさん</small> の不安や悩みの相談 <small>なや そうだん</small>	<ul style="list-style-type: none"> 「にんしんSOSヨコハマ」 18区役所 こども家庭支援課
不妊 <small>ふにん</small> ・不育 <small>ふいく</small> (子どもができないこと)に関する相談 <small>かんけい そうだん</small>	<ul style="list-style-type: none"> 〈専門相談・予約制〉横浜市こども青少年局 こども家庭課 〈一般相談〉18区役所 こども家庭支援課
性的少数者 <small>せいてきしょうすうしゃ</small> ・LGBTの相談 <small>そうだん</small>	<ul style="list-style-type: none"> よこはまLGBT相談

令和3年3月の情報です。
詳しくは、横浜市ウェブサイトを確認してください。
(右のQRコードを使ってください)



令和3年3月

横浜市政策局男女共同参画推進課

〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

電話:045-671-2017 FAX:045-663-3431 電子メール ss-danjo@city.yokohama.jp

だいじよこはまし
第5次横浜市
だんじょきょうどうさんかく
男女共同参画

こうどうけいかく
行動計画

2021-2025

がいようばん
概要版



だんせい じょせい
男性も女性も
いろいろな
せんたく
選択ができる
しゃかい めざ
社会を目指します。

にほん こ かず すく としよ かず ふ
日本では、子どもの数が少なくなり、お年寄りの数が増えています。
せかい たいへん こま こま お
世界でも大変なことや困ったことが、たくさん起きています。
いま よ せいかつ ひと かんが かつ こせい
今よりも良い生活をするためには、いろいろな人の考え方や個性を
だいじ
大事にしなければなりません。男性も女性も、好きなことを選べることが
たいせつ
大切です。
だんじょきょうどうさんかくこうどうけいかく じぞくかのう かいほつもくひょう かんが かつ
男女共同参画行動計画はSDGs(持続可能な開発目標)の考え方
と い もくひょう ひと かんきょう しゃかい つく
を取り入れています。SDGsの目標は、人や環境にやさしい社会を作
ることです。横浜市は、みんなと協力して、良い社会を作ります。

はたら かいしゃ
働きやすい会社
ですか？

びょうどう
ジェンダー平等について、
おも
どう思いますか？

おつと つま
DV(夫や妻、
ぼりやく
パートナーからの暴力)は
どうしてなくなる？

じょせい
女性が
かつやく
活躍していますか？

あたら
新しいコロナウイルスで、
かじ ふ
家事が増えた！

だんせい はたら かつ かていせいかつ
男性の働き方や家庭生活、
か
変わってきましたか？

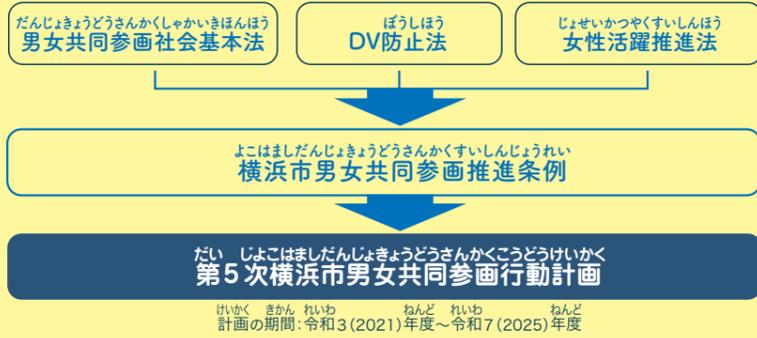
さべつ かくさ
差別や格差を
なくしたい！

じょせい だんせい
「女性らしく、男性らしく」
ではなく
わたし
「私らしく！」

しごと かにてい りょうりつ
仕事と家庭の両立、
できていますか？

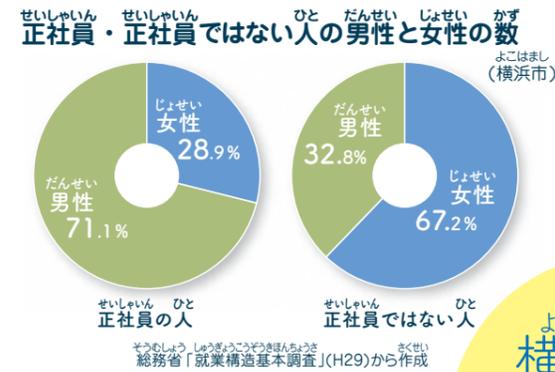


よこはまだんじょきょうどうさんかくこうどうけいかく
横浜市男女共同参画行動計画とは？
よこはまだんじょきょうどうさんかくこうどうけいかく だんせい じょせい
横浜市男女共同参画行動計画は、男性と女性が
きょうりく よ しゃかい つく けいかく
協力して良い社会を作るための計画です。
よこはまだんじょきょうどうさんかくすいしんじょうれい
横浜市男女共同参画推進条例をもとに作っていま
す。条例は次の法律で決めています。
だんじょきょうどうさんかくしゃかいきほんほう
・男女共同参画社会基本法
はいぐうしゃ ぼりやく ぼりやく ひがいしゃ ぼごう
・配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等
かん ほうりつ
に関する法律(DV防止法)
じょせい しきょうせいかつ かつやく すいしん かん
・女性の職業生活における活躍の推進に関する
ほうりつ じょせいかつやくすいしんほう
法律(女性活躍推進法)



あたら
新しいコロナウイルスで、
しごと
仕事をなくす人が増えています。
だんせい じょせい かくさ
男性と女性で格差があります。

- 働く女性が増えました。しかし、男性と女性では格差があり、いろいろな問題があります。
- 新しいコロナウイルスで、仕事がなくなる人が増えました。特に、正社員ではない女性の仕事がなくなっています。



よこはまし
横浜市の
いま じょうきょう
今の状況と
もんだい
問題

せいべつ だんせい じょせい ちが
性別(男性/女性)の違いで
もんだい
問題が増えています。

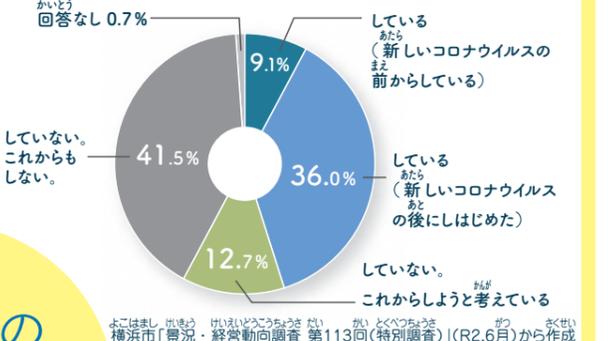
- いろいろな問題が起きています。(暴力やお金がない、など)特に女性の問題が大きくなっています。
- 新しいコロナウイルスで、性別の違いに関する問題が増えています。



はたら
みんなが働きやすい
しよくば
職場づくりを進めます。

- 中小企業では働く人の数が少ないので、みんなが働きやすい職場づくりが進んでいません。
- 新しいコロナウイルスで、大きい会社も小さい会社も、いろいろな働き方を考えなければなりません。

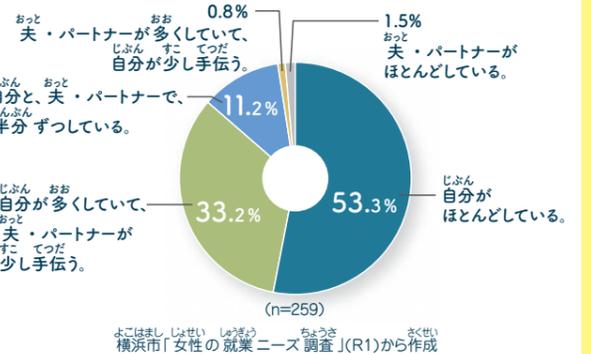
よこはまし かいしゃ なが
横浜市の会社の中で、テレワークをしている会社、
かいしゃ
していない会社



せいべつ やくわり ちが
性別で役割が違うという
かんが かつ いま
考え方が今もあります。

- 「夫は仕事、妻は家庭」という考え方は少なくなっています。しかし、今でも、家事(料理や掃除・洗濯など)や育児(子育て)は女性が多く取り組んでいます。
- 新しいコロナウイルスで、外出できないことや家で仕事をすることが増えました。そのため、女性が家でやるが増えました。このため、男性も家事や育児をする人が増えています。

おつと じごと つま かにてい
夫・パートナーがいて、仕事をしている女性が、
かじ かいご いえ
家事や育児や介護を家でどのくらいしているか(横浜市)



1

女性活躍
できるようにします

基本の考え方

1 SDGs(持続可能な開発目標)の考え方を取り入れます。

2 新たな新型コロナウイルスを考えた取り組みをします。

3 市役所が最初に取り組みます。

2

安全・安心な生活が
できるようにします

3

みんなが活躍できる
地域や社会を作ります

市役所が
すること

- ◆ **施策1** 女性がいつでも働くことができるようにします
- ◆ **施策2** みんなが働きやすい会社や社会を作ります
- ◆ **施策3** 市役所で、男性と女性が今よりもっと働きやすくします
- ◆ **施策4** DVやすべての暴力をなくします
- ◆ **施策5** 女性の生活を支援します
- ◆ **施策6** 女性が元気に暮らせるように支援します
- ◆ **施策7** いろいろな性を認めることができる社会を作ります
- ◆ **施策8** 男性も家事・育児・介護ができるように、働き方を変えます
- ◆ **施策9** 地域や学校で、男性と女性が協力します
- ◆ **施策10** 良い社会を目指して、みんなで計画を進めるために良い環境を作ります

1

女性が活躍できるようにします

◆ 施策1

女性がいつでも働くことができるようにします

活動指標	現状値	目標
仕事について専門の窓口へ相談した女性の数	2,762件	2,800件 (R3)
女性の管理職を増やそうとしている会社の割合	21.4%	30%
会社を作りたい女性を助けた数	1,345件 (R1)	6,000件 (R3-7合計)

主な取り組み

- 女性が働くことを助けます。
- 女性の管理職を増やします。
- 女性が会社を作ったり、会社を大きくしたりできるようにします。
- 働く女性たちのつながりを作ります。

◆ 施策2

みんなが働きやすい会社や社会を作ります

活動指標	現状値	目標
よこはまグッドバランス賞をもらった会社の数	199社	300社
横浜健康経営認証制度 新しく認証を受けた会社の数	585社 (H30-R2合計)	785社 (H30-R7合計)
保育所などの待機児童の数	27人	0人
ハラスメントを防ぐ取り組みをしている会社の割合	36.8%	50%

主な取り組み

- よこはまグッドバランス賞
- 働き方を変えたり、いろいろな働き方ができるようにします。
- 会社の取り組みを助けます(健康経営/SDGs)。
- 公共調達(市が仕事を頼む時)などで良い評価をします。
- 仕事と育児・介護、両方できる環境をつくります。
- 男性も育児休業・休暇を取れるようにします。
- ハラスメント(人を困らせることや嫌がらせをすること)を防ぎます。

◆ 施策3

市役所で、男性と女性が今よりもっと働きやすくします

活動指標	現状値	目標
市役所の職員で年次休暇(毎年もらえる仕事を休んでもよい日)を取った人の割合(10日より長い日数)	75.9%	100%
市役所で働いている女性で、係長になるための試験を受けた人の割合(事務A区分)	75.4%	100%
市役所で働いている女性で、係長になるための試験を受けた人の割合	21.9%	50%
市に関する組織で、女性の数が40%より少ない組織(3人より少ない組織は除く)	59組織	30組織

主な取り組み

- みんなが働きやすい市役所にします。
- 技術・技能系の仕事で女性が活躍できるようにします。
- 学校の先生や職員の働き方を変えます。
- ハラスメント(人を困らせることや嫌がらせをすること)を防ぎます。
- 市に関する組織で女性が今よりもっと活躍できるようにします。

計画の指標

成果指標

男性と女性が協力できる社会を作るため、計画全体の目標とする数字をきめます。

活動指標

事業(取り組み)の数や進み具合がわかるように、目標とする数字を施策ごとに決めます。
⇒P.4~6に書いてあります。

成果指標	現状値	目標
管理職の中の女性の割合	17.2% 市役所の責任職 17.9% 課長以上の役職 23.7%	30%より多くする
男性で、育児休業・休暇(子育てをするために仕事を休むこと)を取っている人の割合	17.6% 市役所 16.5% 1か月より長い期間 10.2%	30% 1か月より長い期間 30%
家で、男性と女性が同じように協力していると思う市民の割合	78.0% 市役所 育児関連休暇※1	100%
市民がDVについてどのくらいわかっているか※2	33.0% (男性40.9%、女性25.3%) 精神的暴力(心を傷つけられること) 59.8% 性的暴力(望まない性的行為のこと) 74.1%	10ポイント多くする 10ポイント多くする

※1「妻の出産のためのお休み」男性が子育てをするためのお休みを3日より長く取ること

※2 男女共同参画について、どのように思うか市民に聞きました。精神的暴力、性的暴力は「暴力です」と答えた市民の割合。

現状値 ▶ 計画を作る時にわかっている、一番あたらしい数字です。

目標 ▶ 令和7年度までの目標の数字です。
途中の年が書いてある時：その年になったら目標の数字を考えます。

安全・安心な生活ができるようにします

施策4

DVやすべての暴力をなくします

活動指標	現状値	目標
DVについて相談するところを知っている人の割合	70.6%	80%
DVの相談をした人の数	4,604件	5,300件 (R6)

主な取り組み

- DVの相談ができる仕組みを作ります。
- DVの被害にあった人が自分で生活ができるように助けます。
- 加害者への対応に取り組みます。
- DVや暴力をなくすために、正しく理解してもらえるようにします。
- 若い人のデートDV(強い束縛)を防ぐ取り組みをします。
- 子どもへの虐待(暴力など)に対応している組織との協力を強化します。
- 性暴力・性犯罪をなくします。

施策5

女性の生活を支援します

活動指標	現状値	目標
市役所の支援で、仕事ができるようになったひとり親の数	337人	2,300人 (R2-6合計)

主な取り組み

- 若い人で仕事をしていない人や、正社員ではなく、結婚をしていない女性を助けます。
- ひとり親家庭の女性が、仕事をして、生活ができるように助けます。
- 性別に関係する問題が解決するように相談を受けたり、助けたりします。
- 外国人を助けます。 ● 障害者を助けます。
- 自助グループ(悩みごとを持つ人たちが集まり、お互いに助け合うグループ)を助けます。

施策6

女性が元気に暮らせるように支援します

活動指標	現状値	目標
子どもを産んだ後の健康診断を受けた人の割合	83.4%	89.0% (R6)
子宮頸がん・乳がんの検診を受けた人の割合	子宮頸がん 52.2% 乳がん 51.6%	それぞれ 50%のまま (R4)

主な取り組み

- みんなが安心して、子どもを産んで、育てることができる環境を作ります。
- 女性のがんの対策をします。
- 何歳になっても、元気に暮らすことができるように助けます。
- 性に関する正しい知識(妊娠・出産・不妊に關係すること)を、みんなに知らせます。
- 女性の健康の問題へ取り組みます。

施策7

いろいろな性を認めることができる社会を作ります

活動指標	現状値	目標
いろいろな性があることを知っている市民の割合	70.9%	80%

主な取り組み

- 性のことやLGBTについて、みんなと考えます。
- 相談するところを作って、助けます。
- パートナーシップ宣誓制度

みんなが活躍できる地域や社会を作ります

施策8

男性も家事・育児・介護ができるように、働き方を変えます

活動指標	現状値	目標
お父さんもお母さんも働いている家で、平日、家事・育児・介護をする時間の割合(女性:男性)	4:1	3:1
地域の父親育児支援講座(お父さんが子育てについて学ぶ講座)に参加した人の数	728人	7,640人 (R2-6合計)

主な取り組み

- 男性も家事・育児・介護をします。
- 家事・育児を助けるサービスなどを使ってもらえるようにします。
- ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活のバランスをとり、どちらも良くする生き方)をみんなに知らせます。

施策9

地域や学校で、男性と女性が協力します

活動指標	現状値	目標
「夫は外で働き、妻は家事をしなればならない」と考えていない市民の割合	53.4%	10ポイント多くする
女性の意見を取り入れて地域防災訓練をしている地域防災拠点の数	163/459 拠点	230 拠点

主な取り組み

- 地域の活動などでいろいろな人が活躍できるようにします。
- 地域で災害が起きたときに、男性と女性が協力します。
- 学校などで、男性も女性も関係なくみんなが好きなことを選び、協力します。
- 市民団体などを作り、協力します。

施策10

良い社会を目指して、みんなで考えます

活動指標
施策10は、施策1～9をみんなが知るために、まとめたものです。そのため、活動指標はありません。

主な取り組み

- 男性と女性が協力して社会を作るために、いろいろなお知らせをします。
- 調査と研究をすすめます。
- 国や他の自治体、関係する団体と協力します。
- 他の国と協力します。情報を知らせます。

市役所がすること

計画を進めるために良い環境を作ります

公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会と協力します。横浜市男女共同参画センターで、男性と女性が協力して社会を作ったり、女性が活躍できるようにします。性別に関する問題がなくなるための取り組みをします。

また、みんなで協力して、計画を進めるための仕組みを作ります。